

第6版				第6版2刷
No.	ページ	行または項目	記載内容	修正内容
1	5	光合成の化学式	光エネルギー + $6\text{CO}_2 + 12\text{H}_2\text{O}$ → $\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + 6\text{O}_2$	光エネルギー + $6\text{CO}_2 + 12\text{H}_2\text{O}$ → $\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + 6\text{O}_2 + \underline{6\text{H}_2\text{O}}$
2	5	呼吸の化学式	$\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + 6\text{O}_2$ → $6\text{CO}_2 + 12\text{H}_2\text{O} + \text{エネルギー}$	$\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + 6\text{O}_2 + \underline{6\text{H}_2\text{O}}$ → $6\text{CO}_2 + 12\text{H}_2\text{O} + \text{エネルギー}$
3	9	根系分布図の4例		縦軸の縮尺を揃えた。
4	10	上から2行目	「根の主な働きは・・・養分の吸収することです。」	「根の主な働きは・・・養分 <u>を</u> 吸収することです。」
5	19	図1-16 三角図表と土性区分		土性区分の図を見やすく拡大
6	24	1) 水素イオン濃度指数		H+のプラスは上付き「+」に変更
7	24	図1-22		アルカリ側の矢印がズレを修正
8	26	下段の囲み文	「pH (potential of Hydrogen)とは、」	「pH-(potential of Hydrogen)とは、」
9	27	下段の囲み文	「電気伝導度：EC (Electric Conductivity)とは、」	「電気伝導度：EC-(Electric Conductivity)とは、」
10	28	下から6行目	「腐植含量の多い土壤ではリン酸の吸収力が弱まり、リン酸の有効性が増すことになる。」	「腐植含量の多い土壤ではリン酸の <u>固定力</u> が弱まり、リン酸の有効性が増すことになる。」
11	28	下から6行目	AL	AI
12	63	図2-6	図表の寸法	削除
13	63	図2-6	水頭10cm	水深100mm
14	63		「表2-12 最終減水能の算出方法」	表タイトルを次ページに移動
15	63	3) ③	…再度水深100mm程度まで…	…再度水深 <u>100mm</u> まで…
16	70	表2-17	腐植含有量(%)	炭素含量(%) 表の下に「※「腐植含有量」は、炭素含量に1.724 (100/58) を乗じて算出します。」を追加
17	71		e 調査方法、f 判定・評価	b 調査方法、c 判定・評価
18	83	(2) 土層改良工	耕耘機	耕耘機
19	85	表3-1	普通鋼	普通耕
20	87	1行目	「工事請負契約書第18条及び工事共通仕様書1-1-3において、・・・」	「国土交通省の公共工事標準請負契約約款第18条及び土木工事共通仕様書1-1-1-3において・・・」
21	93		一般的にグランド等の・・・	一般的にグラウンド等の・・・
22	102	1) 酸性土壤の矯正		使用頻度の高い順に記載
23	102	表3-7		使用頻度の高い順（炭酸カルシウム、苦土石灰、消石灰）とし、生石灰を削除 表の下に「※生石灰は、水をかけると発熱して危険なことやアルカリ成分が多く強すぎる所以使用することは少ない。」を追加
24	104	表3-9	ビートモスの注意点 「無調整のものを使用」	「酸度無調整のものを使用」
25	104	(5) 有害物質対策	「有害物質として最も・・・」	「植物の生育にとって有害な物質として最も・・・」
26	126	図4-2	左：高植植栽	左：高植植栽により良好に生育
27	127	4-2-1 文中	全面改修する以外手立てはなかったが、・・・土壤の入替などがあげられる。	全面改修する以外手立てはなかった。しかし近年、管理段階における改良法として、土壤改良材や肥料の施用とともにエアースコップ、アースオガ、空気注入式深耕機などを利用した土壤の膨軟化や入替が行われるようになった。
28	127	4-2-2 の表	表タイトルがない	「表4-4 植栽基盤改良のタイプ」を追加
29	127	4-2-2 の表	Dタイプの概要「・・・、③と同様に・・・」	「・・・、Cタイプと同様に・・・」
30	131	上から2行目	「樹木が成長して年々大きくなっていくように“適切な管理を行なえば”植栽基盤も年々熟成していく。」	樹木が成長して年々大きくなっていくように、 <u>植栽基盤も“適切な管理を行なえば”年々熟成していく。</u>
31	137～	参考資料-3		→ 日本住宅公団（UR）における取組みを追記
32	141	参考資料-5	電気伝導度（EC）の ms/cm	→ mS/cm